

項目	内容
名称	アルファルファ、ウマゴヤシ、ムラサキウマゴヤシ [英]Alfalfa、Lucerne [学名]Medicago sativa L
概要	アルファルファは、マメ科の多年生植物で、30～100 cm程度に生長する。原産地の近東諸国では、主に飼料用の作物、また痩せた牧草地を肥沃に改良する作物としても利用されている。葉は野菜として食べられている。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・サポニン類、L-カナバニン (canavanine)、トリテルペン配糖体 (medicagol)、ステロール類 ( $\beta$ シトステロール (sitosterol)、スチグマステロール (stigmasterol)、カンペステロール (canpesterol) など)、フラボン、イソフラボン類 (クメストロール、ゲニステイン (genistein)、ビオカニン (biochanin) A、ダイゼイン (daidzein) など)、アルカロイド類 (スタキドリン (stachydrine)、ホモスタキドリン (homostachydrine) など)、クマリン類 (メディカゴール (medicagol)、サティボールなど) を含む (23) (81)。 ・アルファルファ種子は8.33～13.6 mg/kgのカナバニンを含む (81)。
分析法	・サポニンを抽出、精製、誘導体化後、紫外可視検出器 (検出波長260 nm) を装着したHPLCにより分析されている (101) (102)。

有効性		
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
生殖・泌尿器	<b>RCT</b> ・更年期症状のある女性351名 (45～55歳、アメリカ) を対象とした無作為化二重盲検比較試験において、マルチ植物サプリメント (1日量としてブラックコホシュ 200 mg、アルファルファ400 mg、チェストツリー200 mg、ザクロ400 mgをそれぞれ含む) を1年間摂取させたところ、膣症状、月経周期、ホルモン状態に影響は認められなかった ( <a href="#">PMID:18257142</a> )。	
ヒトでの評価	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
	参考文献	(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (23)天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳 (101) J Chromatogr A. 1990;519(1):109-16. (102) J Agric Food Chem. 1994;42(3):727-30. (90) 中薬大辞典 上海科学技術出版社 <a href="#">(PMID:6110847) Lancet. 1981 Mar 14;1(8220 Pt 1):615.</a> <a href="#">(PMID:6843625) N Engl J Med. 1983 Jun 2;308(22):1361.</a> <a href="#">(PMID:13982963) Lancet. 1962 Dec 29;2:1348-51.</a> <a href="#">(PMID:10399907) Arch Intern Med. 1999 Jul 12;159(13):1502.</a> <a href="#">(PMID:13174345) J Am Med Assoc. 1954 Jul 17;155(12):1058-9.</a> <a href="#">(PMID:18257142) Menopause. 2008 Jan-Feb;15(1):51-8.</a> (7) 中薬大辞典 小学館 (81) Herbal Medicines Third edition (Pharmaceutical Press)  <a href="#">(PMID:31172083) Adv J Emerg Med. 2018 Jan 12;2(2):e20.</a>